

生徒が主体的・対話的に学ぶ課題追究・解決型の授業づくり

まず、見方・考え方について考えてみます。



「私の視点」「印象の」「私が感じた風景の魅力」

主題×表現の工夫

◎風景の魅力を引き出す工夫を考えよう。

第9回

巨匠に学ぶ

構図

どの大きさで？
どこを切る？

色

筆致

描き方

モネ



風景

人何人？

強調しるところが、
色や筆致で表現する。

ルノワール



※付箋には意見と名前を入力

モネ



モネは明るい色
の青緑

モネは船が手前
に来るほどリアル
に書いている
水が静か

構図について

筆致について

色彩について

水の塗り方は、似たように見える。川口

モネは遠くから
見ている感じで、
ルノワールは、
近くから見ている感じ。
川口

もしかして
だけ、モネは水
をメインにして
ルノワールは木
をメインにして
いる。水が静か

ルノワール



ルノワールは暗めの

6班

1年生 美術

2年生 技術・家庭

赤ウィンナー その他の情報

- ・ 5/30購入
- ・ 価格328円
- ・ 15本入り1袋
- ・ 白ウィンナーと比べて、少ししょっぱくうまみが強い
- ・ 皮は薄めなので、パリッと感はない

3 どちらのウィンナーにするか決定する時に手に入れた情報はあるか考え、なぜその情報が必要なのか話し合う。

- ・ 弁当に入れるため、色合いを大事にしたい。
- ・ 毎日作る弁当だから1袋に何本入っているかを重視したい。
- ・ 毎日作る弁当だから、安いウィンナーにしたい。
- ・ 食品添加物が心配だから、あまり使っていないウィンナーを選びたい。
- ・ 自分が食べる弁当なので、おいしいウィンナーを選びたい。



気持ちがたくさん表れてるから共感できる

感情移入しやすい

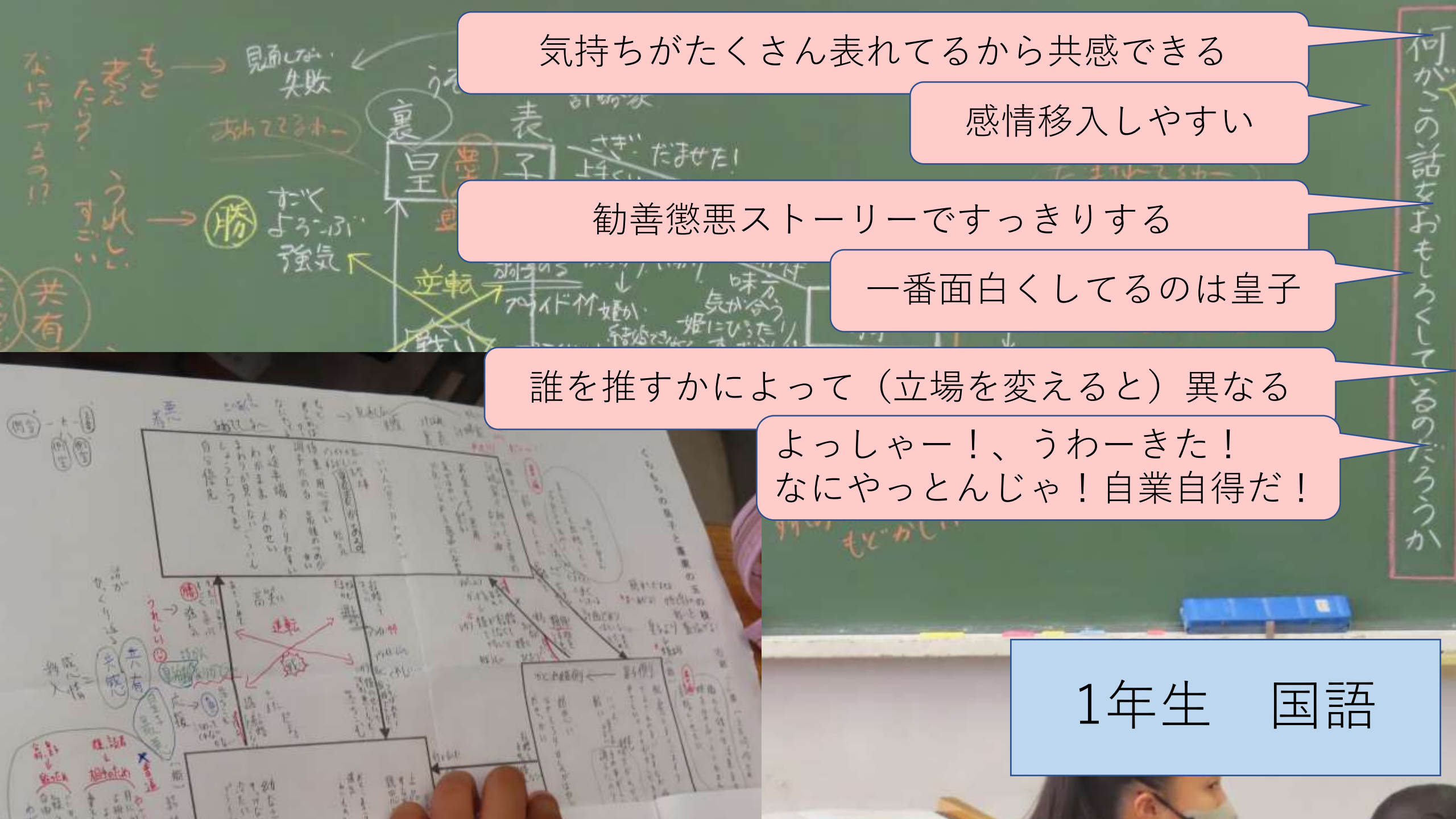
勧善懲悪ストーリーですっきりする

一番面白くしてるのは皇子

誰を推すかによって（立場を変えると）異なる

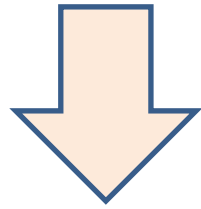
よっしゃー！、うわーきた！
なにやっとなんじゃ！自業自得だ！

1年生 国語



見方・考え方とは

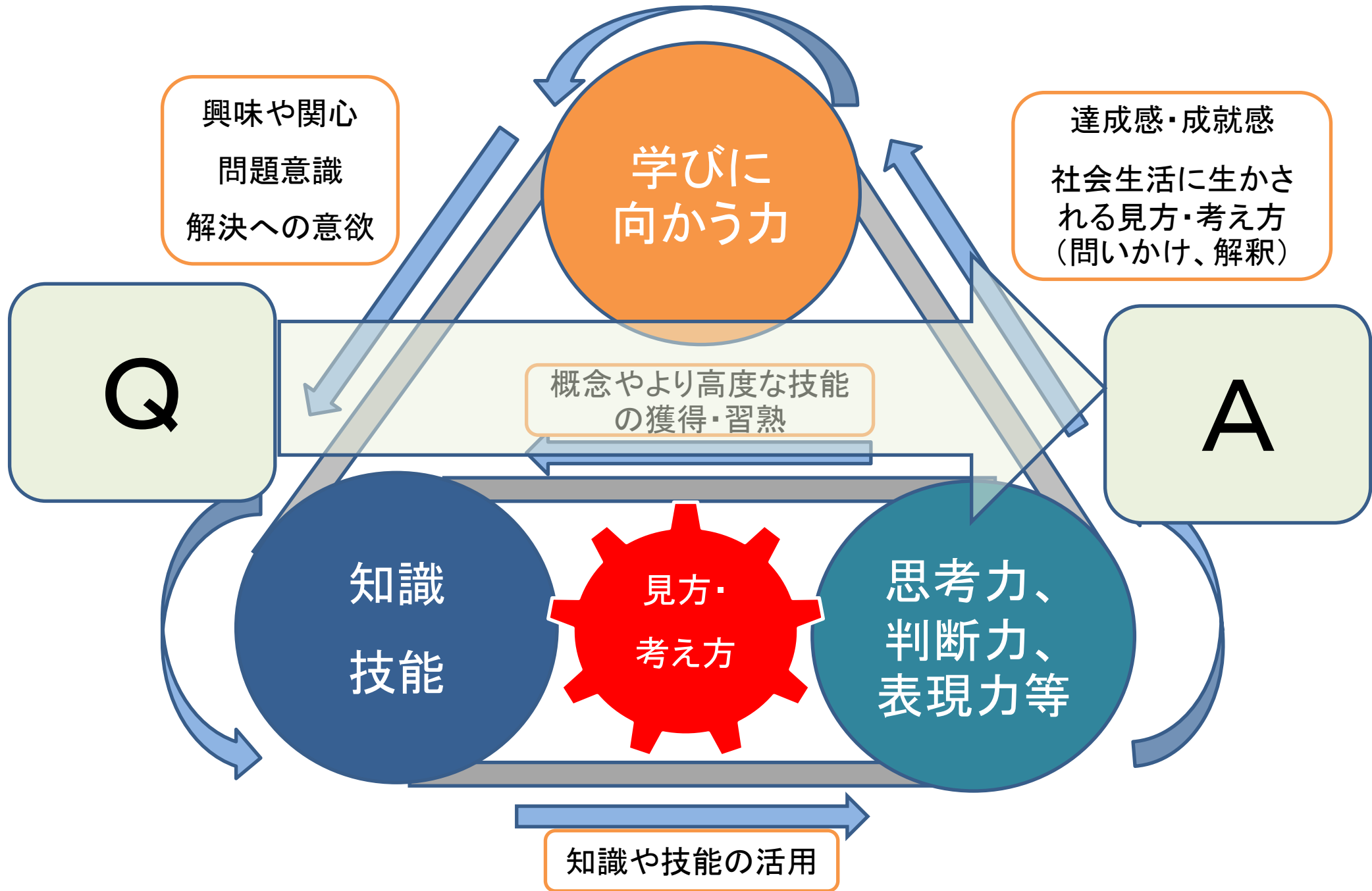
各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方



『小学校学習指導要領解説 総則編』(平成29年)

位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係など（視点）に着目して社会的事象を捉え、比較・分類したり総合したり、地域の人々や国民の生活と関連付けたりすること（考え方）

『小学校学習指導要領解説 社会編』(平成29年)



「見方・考え方」を支えているのは、各教科等の学習において身に付けた資質・能力の三つの柱である。各教科等で身に付けた知識・技能を活用したり、思考力・判断力・表現力等や学びに向かう力・人間性等を發揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた物事を捉える視点や考え方も豊かで確かなものになっていく。物事を理解するために考えたり、具体的な課題について探究したりするに当たって、思考や探究に必要な道具や手段として資質・能力の三つの柱が活用・發揮され、その過程で鍛えられていくのが「見方・考え方」であるといえよう。

中央教育審議会答申(平成 28 年)より

- 各教科等で身に付けた知識・技能を活用したり、思考力、判断力、表現力等や学びに向かう力・人間性等を発揮させたりして、学習の対象となる物事を捉え思考することにより、各教科等の特質に応じた視点や考え方も、豊かで確かなものになっていく。
- 物事を理解するために考えたり、具体的な課題について探究したりするに当たって、思考や探究に必要な道具や手段として資質・能力の三つの柱が活用・発揮され、その過程で鍛えられていくのが「見方・考え方」であるといえよう。
- 各学問分野には、固有の知的訓練を通じて獲得されるが汎用的な有用性を持つ力（ジェネリックスキル）があり、「見方・考え方」と共通の方向性である。（下線は筆者）

STEAM 教育（スチーム教育）とは、次の頭文字をとった造語です。Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術）、Mathematics（数学）。政府の教育再生実行会議の中間報告では、各教科での学習を「実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育」と定義しています。

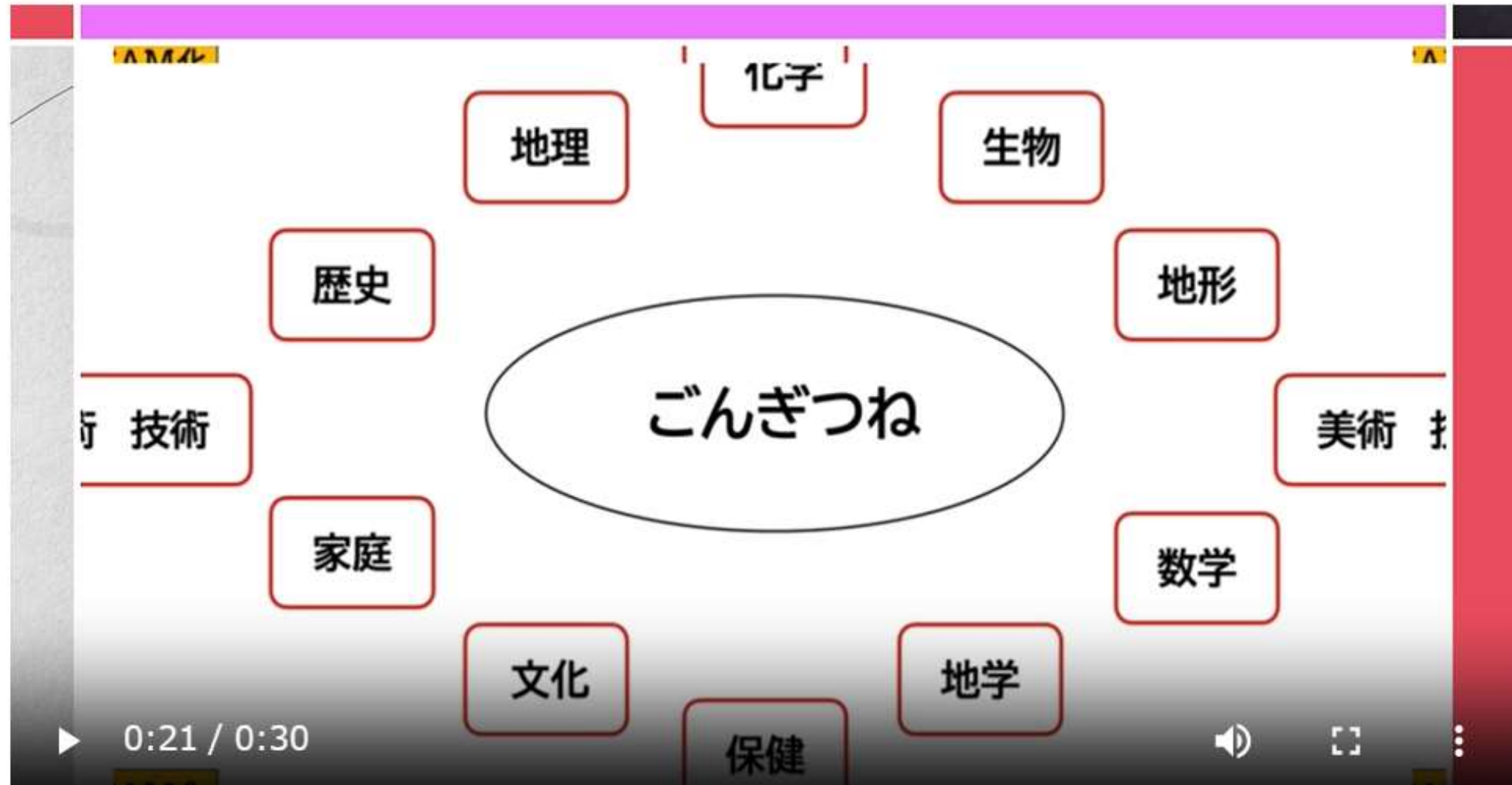


- ①科学・技術分野の経済的成長や革新・創造に特化した人材育成を志向する。
- ②すべての児童生徒に対する市民としてのリテラシーの育成を志向する。

文部科学省説明資料より

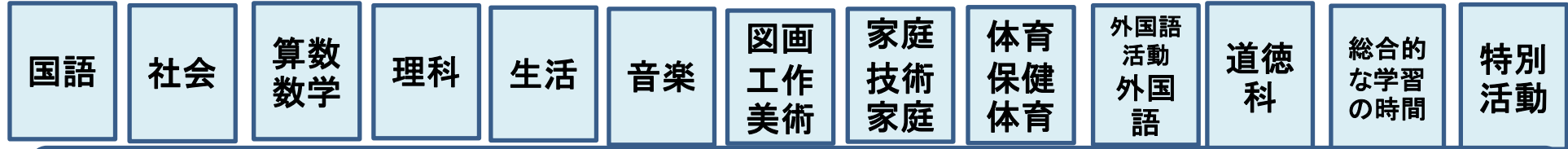
ちなみに、中央教育審議会答申（令和3年1月）では、「STEAMのAの範囲を芸術、文化のみならず、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲（Liberal Arts）で定義し、推進することが重要である」と

初級編 STEAM化ごんぎつね



関西大学初等部

見方・考え方が「鍛えられる」イメージ



各教科等の授業の中で、それぞれの特質に応じた「見方・考え方」を働かせて学ぶ

授業で繰り返し
働かせる

「学び方」の習得

豊かで確かに
なっていく

教科等ごとに身に付けた資質・能力により、「見方・考え方」が豊かで確かなものになっていく

「学び方」の成長

各教科等の「見方・考
え方」を生かし足り組
み合わせたりして自在
に働かせるようになる

各教科等の学びの中で鍛えられた「見方・考え方」を働かせながら、世の中の様々な物事を理解し思考しよりよい社会や自らの人生を創り出していく

人生における「生き方」へ

小中学校で進められるであろう「学びの STEAM 化」には、各教科等の、あるいは各教科等を超えた（共通する）見方・考え方が充実の鍵になるのではないか。

○次代を切り拓く子供たちに求められる資質・能力としては、文章の意味を正確に理解する読解力、教科等固有の見方・考え方を働かせて自分の頭で考えて表現する力、対話や協働を通じて知識やアイデアを共有し新しい解や納得解を生み出す力などが挙げられた。

○小学校中・高学年以上の指導においては、各教科等の内容を、徐々にその中核的な概念を使って指導することにより、見方・考え方が鍛えられていくことを踏まえることが重要である。

(下線は筆者)

ば中央教育審議会「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（令和3年1月）

- ・焦点化：鍵となる概念の理解を強化するため、単元・領域同士が重なることも考える。
- ・一貫性：単元・領域は、発達段階や年齢を通して、基礎的なものからより高度な概念へ進歩していけるようにするため、各学問分野の原理を反映した形で順序付けられるべきである。
- ・転移可能性：特定のコンテキストで学習することが可能で、かつ他のコンテキストにも転移できるような知識やスキル、価値・態度に、より優先度が置かれるべきである。（コンテキスト…文脈、状況）

「OECD Learning Framework 2030（2030年に向けた学習枠組み）」
に関するワーキング・グループまとめ より

「深い学び」のイメージ

柱書

～(教科の特質に応じた) 見方・考え方を働かせ、
～活動(学習過程)を通して～

(1) 知識や技能を身に付けるようにする。

(2) 思考力、判断力、表現力を養う。

(3) ～しようとする態度(問題解決、生活に生かす等)を養う。

教材研究の入口と出口

1

- 学習指導要領
 - ・目標
 - ・内容
 - ・内容の取扱い

- 教科書
 - ・問い、めあて
 - ・資料
 - ・本文、表現例

2

- 子供
 - ・理解
 - ・思考
 - ・表現

入口の研究

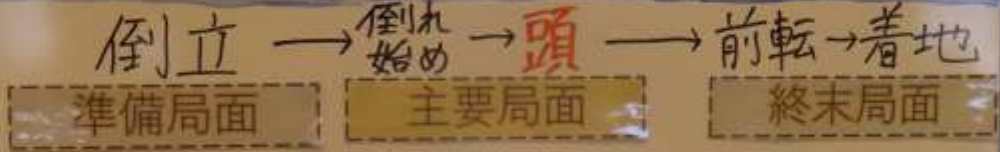
- ・どのように反映されているか
- ・どのような教材や事例に変換されているか

地域の実態 子供の実態

出口の研究

- ・どんな言葉で理解するか
- ・どんな資料や情報を加えるか

頭が着く瞬間に、
どのように動かすとよいだろうか。



【瞬間】

【体の部位】

【どう違うか】

膝	つま先	腕	背中
△曲がる		曲がる	せま..
↓		↓	↓
腹に力!!		手→頭	頭をけ
体がせま		手の長さ	たおれ

1年生 体育

頭が地面に着く瞬間



倒れ始め



頭がへナへナって
変な感じだった

頭をしめる感じ。
内側に入るとき
きれいに回れた。



がより自身の身体の動かし方について思考を深めるだろう。「動作分析」と「動きの感じ」という2つの視点が相互に関連していくことが知識と技能を繋ぎ合わせ、動きに対する理解が深まり、運動が高まってくると考える。

	前転	倒立	倒立前転
いつ【瞬間】	両足とも地面から離れる瞬間	着手の瞬間	頭が地面に着く瞬間
どこが【体の部位】	膝	振り上げ足	つま先や膝
どう違うか【距離や角度等】	伸びている	腰角度が大きくなる	頭よりも奥にある
どのように動かすとよいか【感覚やコツ】	膝を棒にする感じ	上方向ではなく後ろ方向へ振り上げる感じ	脚をたたむのを我慢する感じ

<各技の動きの動作分析の視点の例>

技の習得過程を可視化するための ICT 活用

各技に挑戦する前、中、後と自分の動きを動画撮影する。その動画を Google for Education のスライドに貼り付ける。また、動画を見て課題と思われる【瞬間】を静止画化し、「描画 Canvas」を使用して、体の各部位をつないだ棒人間を作成する。(図1) 手本映像の静止画(棒人間)と比

生徒が主体的・対話的に学ぶ課題追究・解決型の授業づくり

次に課題追究、課題解決型の授業について
考えてみます。



課題解決のプロセスを重視する

本時の目標 ～（活動）を通して～（資質・能力）を養う（～できるようにする）

本時の学習課題（Q）

本時の学習活動（調べる・つくる・試す・練習する・話し合う・書き込む等）

q → a

q → a

q → a

q → a

算数・数学の問題解き
理科の実験
体育の練習
音楽の練習
ワークシートへの記入
など

教材

内容

本時の学習のまとめ（A）

課題：1つの線分図に複数の表し方があることから、根号を含む式の計算にはどのようなきまりがあると言えるだろうか。

$$OE = \sqrt{2} \times 2 = \sqrt{8}$$

$$2 = \sqrt{4}$$

$$\sqrt{2} \times \sqrt{4} = \sqrt{8}$$



点Oに近い点から順にA, B, Cと記入しよう。また、長さが等しい点が複数ある場合はA, A₁, A₂と表そう。

点Oから格子点までの長さの関係

OC=2OA	3OC=2OF	OA=1	OH= $\sqrt{13}$
OF=3OA	OI=2OC	OB= $\sqrt{2}$	OI=4
OI=4OA	4OF=3OI	OC=2	OJ= $\sqrt{17}$
OE=2OB	3OE=2OK	OD= $\sqrt{5}$	OK= $\frac{11}{\sqrt{2}}$
OK=3OB	4OK=3ON	OE= $\frac{\sqrt{8}}{\sqrt{2} \times 2}$	OL= $\frac{\sqrt{2}}{\sqrt{5}}$
ON=4OB	ON=2OE	OF=3	OM=5
OL=2OD	OM=5OA	OG= $\sqrt{10}$	ON= $\frac{\sqrt{3}}{\sqrt{2}}$

格子点

課題

炭酸水の中で、なぜ干しブドウは浮き沈みするのだろうか

物体にはたらく力は何か

- ・重力
- ・浮力
- ・垂直抗力
(底にあるときだけ)
- ・水圧

物体にはたらく力は、どのように
関係しているのだろうか

- ・重力と浮力
- ・水圧と浮力

浮力の大きさは何に関係しているのだろうか

- (密度)
- ・体積
- ~~質量~~
- ~~表面積~~

3年生 理科

Danielの会話の内容をふまえてDaniel
したい食べ物をその魅力が伝わるよ
うにしよう。

does Mao want to eat?

Corn-dog

does Daniel want to eat?

something sweet

できること
You can ~

特徴
It has ~ in it.

It's not in
the U.S.

It has sauce?

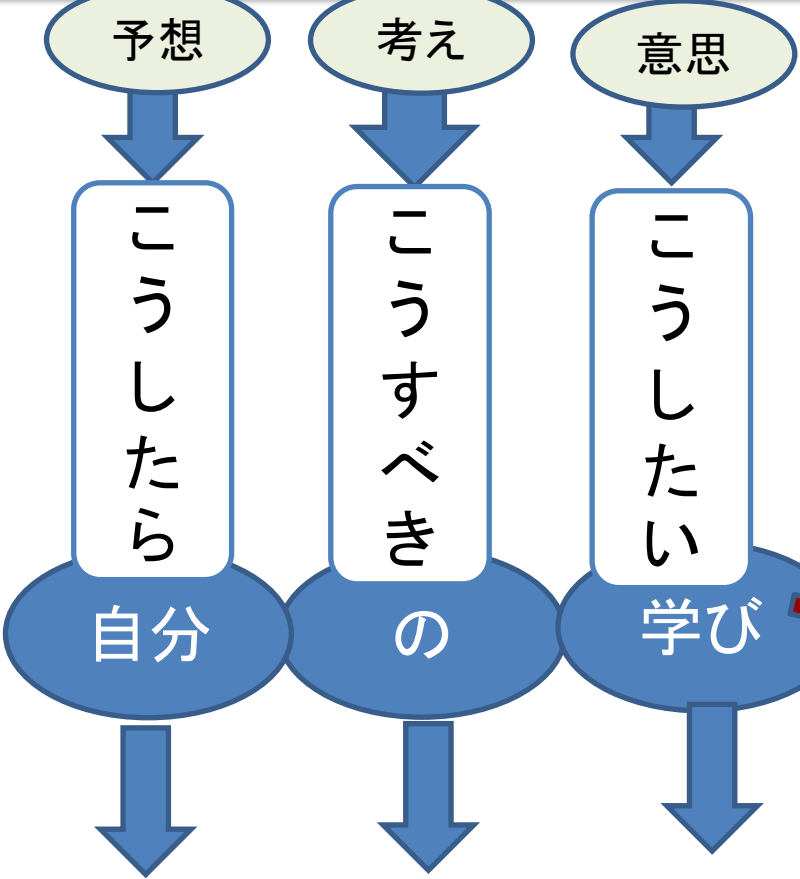
→

誰が好きか
Many people like it.

値段
It's ~yen.

It's not
expensive

学習の課題

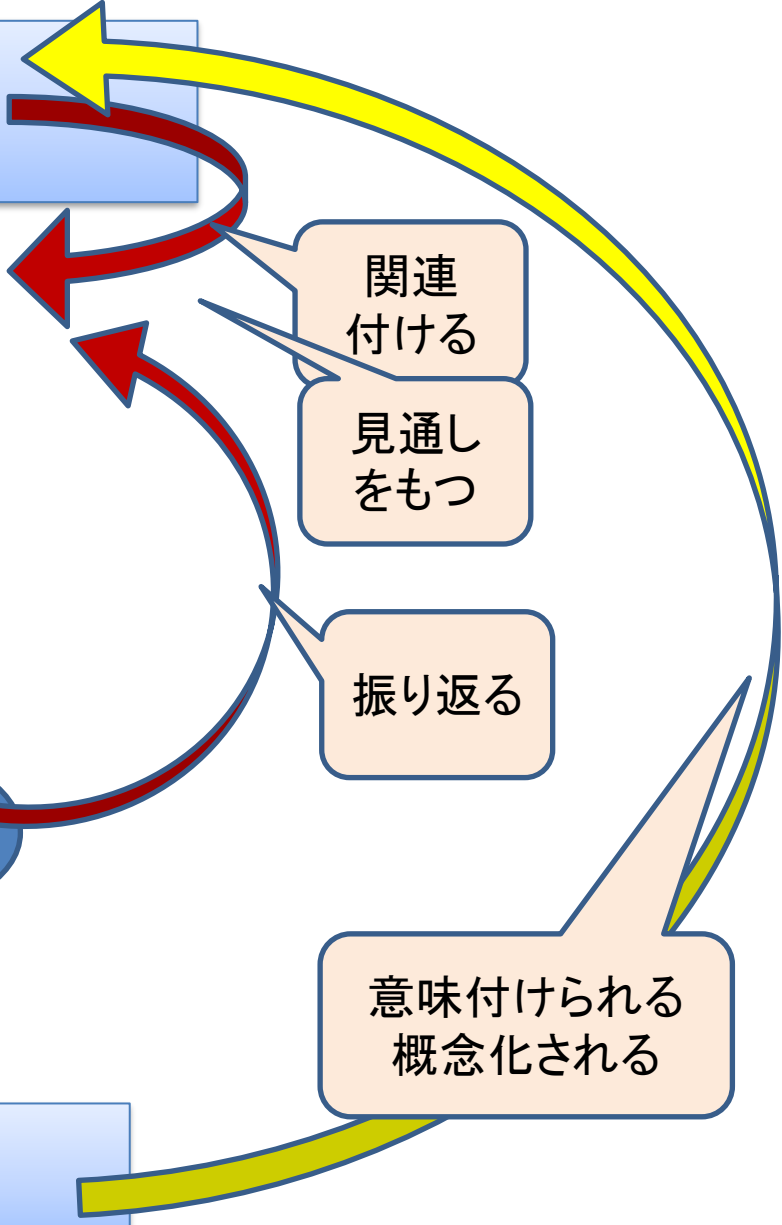


学習のまとめ

- 関連付ける
- 見通しをもつ
- 振り返る

意味付けられる
概念化される

主体的な学びとスムーズな学びは別物



「主体的に学習に取り組む態度」については、挙手の回数やノートの取り方などの形式的な活動ではなく、児童生徒が「**子供たちが自ら学習の目標を持ち、進め方を見直しながら学習を進め、その過程を評価して新たな学習につなげる**といった、学習に関する**自己調整**を行いながら、粘り強く知識・技能を獲得したり思考・判断・表現しようとしたりしているかどうかという、**意思的な側面**を捉えて評価することが求められる」

『児童生徒の学習評価の在り方について(報告)』

(中央教育審議会 初等中等教育分科会 教育課程部会報告 平成31年1月) より

- ① 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置きつつ、**深い学びの過程**が実現できているかどうか。
- ② 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、**対話的な学びの過程**が実現できているかどうか。
- ③ 子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、**主体的な学びの過程**が実現できているかどうか。

授業改善に当たっても、学習の進め方(学習計画, 学習方法, 自己評価等)を自ら調整する力を身に付けさせることを一つの柱として行うことが考えられる

中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）より

【概要】 Society5.0の実現に向けた教育・人材育成に関する政策パッケージ（案）

2022年6月2日

社会構造の変化の中で新しい価値を生み出すのは「人」
 これからは人と違う特性や興味を持っていることが新しい価値創造・イノベーションの源泉
 「well-being(一人ひとりの多様な幸せ)」を実現できる「創造性」あふれる社会に向けた学びへの転換が必要

社会構造の変化

これまで

工業化社会
 大量生産・大量消費
 人口増

今、これから

新たな**価値創造**
イノベーション
Society 5.0
SDGs DX 多様性
 一人ひとりの**多様な幸せ**
 well-being

教室の中にある多様性

特異な才能のある子供

0.8人
(2.3%)

発達障害の可能性のある子供

2.7人
(7.7%)

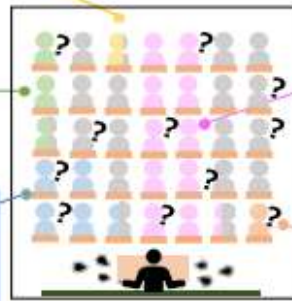
不登校

0.4人
(1.0%)

不登校傾向

4.1人
(11.8%)

小学校35人学級の場合



家にある本の冊数が少なく学力の低い傾向が見られる子供

10.4人
(29.8%)

日本語を家であまり話さない子供

1.0人
(2.9%)

※子供の数の考え方・定義等については、本体スライド10の出典と同様。

バイアスのかかる理系の進路選択

		男	女
OECD/PISA調査	人数	約21万人	約19万人
15歳段階の科学的リテラシーの高成績者の割合	割合	40%	37%
高校で理系を選択する	人数	約14万人	約8万人
	割合	27%	16%
学士で理工農系を専攻する	人数	約9.4万人	約2.6万人
	割合	18%	5%
修士で理工農系を専攻する	人数	約3.5万人	約0.7万人
	割合	7%	1%

※一学年あたりの人数及び一学年（男女別）あたりの割合については、本体スライド15の出典と同様。

<教育・人材育成システムの転換の方向性>

同質性・均質性
 一律一様の教育・人材育成

一斉授業 形式的平等主義

みんな一緒に みんな同じペースで みんな同じことを



~~同調圧力~~
~~正解主義~~

価値創造やイノベーション創出の最大の敵

多様性を重視した教育・人材育成

個別最適な学び

協働的な学び

それぞれのペースで自分の学びを 対話を通じた「納得解」の形成



教師による一斉授業

一定のレベルを想定した
質の高い授業展開

主体

子供主体の学び

子供の理解度や認知の特性に
応じて自分のペースで学ぶ

同一学年で

同一学年で構成され
該当学年の学び

学校種
学年

学年に関係なく

学年・学校種を超える学び
や学年を遡った学びも

同じ教室で

集団行動が
基本となる教室で

空間

教室以外の選択肢

教室になじめない子供が
教室以外の空間でも

教科ごと

教科担任制のもと
教科ごとの指導

教科

教科等横断・探究・STEAM

教科の本質の学びとともに、
教科の枠組みを超えた
実社会に生きる学びを

Teaching

指導書のとおり
計画を立て教える授業

教師

Coaching

子供の主体的な学びの
伴走者へ

同質・均質な集団

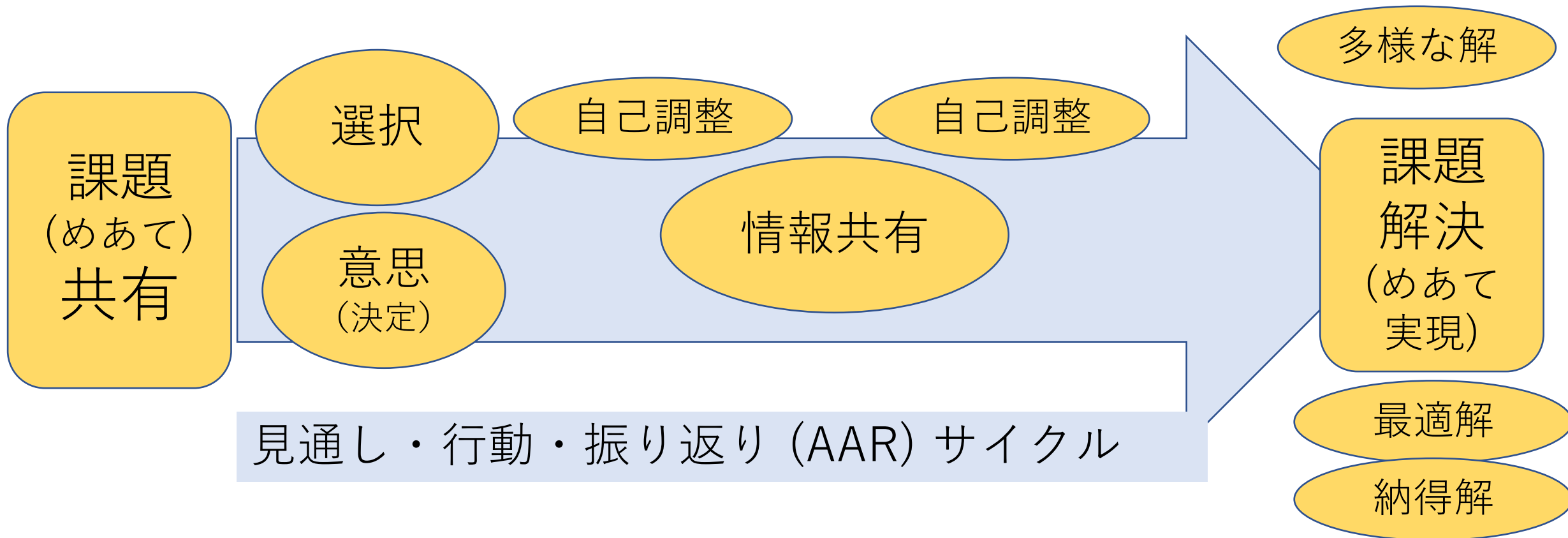
教員養成学部等を卒業し、
定年まで勤めることが基本
万能を求められる教師

教職員
組織

多様な人材・協働体制

多様な教職員集団
理数、発達障害、ICT、キャリア
など専門性を活かした協働体制

これからの授業に求められるキーワード（単元イメージ）



誘導の着眼

【着眼1】 選択・決定をくり返し動きをつくる単元構想

	選択・決定	手立て	子どもの姿
出合う	○ 開脚跳びに出合い, 場を選択し試技をくり返し, 目指す目標の決定。	○ モデルを提示し, 開脚跳びのポイントを基に動きを試す場を設定する。	モデルとなる動きからポイント見付け, 試技を繰り返し, 自分の体を思い通りに操作したりできなかつたりを楽しみ目標を決める姿。
つくる・高める	○ 自己の能力に適した課題を見付け, 課題を解決するための場や練習方法の選択・決定。	○ 助走ー踏み切り, 踏み切りー着手, 着手ー着地の局面ごとの動きづくりを設定する。 ○ 易しい場とできばえを確かめる場を設定する。	易しい場とできばえを確かめる場を行ったり来たりしながら, 跳び越すときの感じ方が違うことに気づき, 自分の目標とする動きに近づけようとする姿。
生かす・まとめる	○ 跳び箱の段数, 種類を選択わたしの開脚跳びの成果を発表。 ○ 動きづくりへの目標やいかしたいことを決定。	○ 「わたしの開脚跳び」の発表会を設定する。 ○ 導入時の動きと発表会での動きを比較しふり返る場を設定する。	友だちに自分の動きづくりの成果を発表する姿。 導入時の動きと発表会の動きを比較し, 動きの高まりを実感し, 次の活動への目標をもつ姿。

ねらい	子どもが選択する主な活動	教師の支援
豆太の性格とその理由の自覚化 豆太の性格を捉えた異なる視点の発見 友達が想像した理由の理解・解釈	<ul style="list-style-type: none"> • タブレット端末での探索 • 個での読み返し • 友だちとの聴き合い 	<ul style="list-style-type: none"> • 同質・異質な考えの紹介 • 他者との交流の促し
豆太の性格とその理由の明確化, 付加・修正 新たな視点の見いだし	<ul style="list-style-type: none"> • 個やグループでの読み返し • グループでの交流 	<ul style="list-style-type: none"> • 称賛, 問い返し • 不明確なところの自覚化を促す傾聴
新たな視点での叙述の捉え直し 読みの再構築	<ul style="list-style-type: none"> • 個の考え直し • グループでの考え直し 	<ul style="list-style-type: none"> • 視点の確認と全体への共有 • 叙述の確認の促し
視点の共有と精選	<ul style="list-style-type: none"> • 全体での交流 	<ul style="list-style-type: none"> • 読みの矛盾・対立の顕在化

………適切な活動における支援

	選択・決定する内容や方法	ねらい (子どもの姿)	手立て (働きかけ)
出会う・見通す	<ul style="list-style-type: none"> ・ つくりたいみそ汁のイメージ (おいしい, 元気が出る, ホットするなど) ・ 必要な材料や道具, 作り方や手順 	<ul style="list-style-type: none"> ・ どんなみそ汁にするか考える姿 ・ みそ汁をつくるために, 自分がどんなことを「わかる」「できる」ようになればよいか課題を見いだす姿 	<ul style="list-style-type: none"> ・ みそ汁のつくり方についての家庭調査と交流活動の位置付け ・ 「だしの役割」「実の切り方, 煮る順番」「みその入れ方」など, 視点の焦点化 ・ 「できた」「わかった」シートによる個人の課題把握
さぐる	実 (大根・油揚げ・ネギ) の切り方 <ul style="list-style-type: none"> ・ 形 ・ 大きさ ・ 厚み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実の切り方を考えて安全に切っている姿 ・ だしの取り方や煮る順番や手順などのみそ汁のつくり方を理解して実践している姿 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人一調理できる時間設定 (一人一単位時間) ・ ペアでの調理実習の観察と評価活動の位置付け ・ 観察しながら評価できる評価シートの活用
生かす・広げる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭の食事場面 (朝食, 夕食など) ・ 食生活に係る視点 (栄養, 見た目, 味など) ・ 使用する材料 ・ 相手や目的 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「朝ごはんでは栄養がとれるように」「おばあちゃんのみそ汁を再現できるように」など, 家庭で「みそ汁づくり」をしようとしている姿 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調理実習のふり返りを基にした家庭実践の計画の設定 ・ 「できた」「わかった」シートによるふり返し活動の位置付け ・ タブレット端末による家庭実践記録と交流活動の位置付け

【着眼?】 みそ汁を作るためのよりよい考えをつくる学び合い

問い	選択・決定する対象	教師の働きかけ
<p>JICAは、どのような機関で、どのような活動をしているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 形態 <ul style="list-style-type: none"> ・ 個人, ペア, グループなど ◆ 調べる対象 <ul style="list-style-type: none"> ・ JICAの各事業 ・ ISAPHのプロジェクトなど 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左記の選択・決定する対象を基に自分なりの問題解決の道筋を描き、それに沿って追究する活動を設定する。 ○ タブレット端末で子どもの学びの状況を把握したり、必要に応じて自分の問題解決の道筋を修正する場を設定したりする。
<p>ISAPHは、どのような団体で、どのような活動をしているのだろうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 調べるためのツール <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書, 映像資料, タブレット端末など ◆ 思考・表現するためのツール <ul style="list-style-type: none"> ・ ノート, タブレット端末, ホワイトボードなど 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習材「ISAPHの活動(ラオス・マラウイ)」を開発し、「挑む・まとめる」段階に位置付ける。

2/11

水の温度とすがた

めあて

水を熱してできるあわの正体を調べよう。

予想

水は空気

空気が入るところがない。
水が熱されてあわが
湯気になった。

調べ方

冷やしたら
水にとるはず。

A 冷やす(氷水)



見るところ

試験管

水てきがつくか

ピーカー

水のすがた 量

予想

あわの正体 空気

理由
もともと水の中にあわの正体は
空気が多く入ったもの
だから。

調べ方

水の中で
あわが出るはず。

B 水の中に入れる



見るところ

試験管

あわが出る。



あわ

注意

- ふっとうがは実験をはじめる
- 実験中はほご必ずつける。
- 器具は熱くな直せつさわらな
- ガラス管の先向けない。
- Bの実験では止める前にガラ水から出す。

A 水(水てき) ↑ふえた ↓へった -変わらない

班	1	2	3	4	5
ピーカー					
試験管					

<p>靖幸</p> <p>4:01</p> <p>ちひろ</p> <p>4:04</p> <p>永空</p> <p>14:06</p> <p>田るま</p> <p>蒸気はどこで るから。</p> <p>14:27</p> <p>繪室 奏</p>	<p>宮城 那珠</p> <p>2月7日 14:01</p> <p>中川想太</p> <p>2月7日 14:04</p> <p>沖崎 結音</p> <p>2月7日 14:06</p> <p>古平 友美</p> <p>2月7日 14:27</p> <p>石坂 能子</p>	<p>弓場 健太</p> <p>2月7日 14:01</p> <p>尾仲 悠誠</p> <p>2月7日 14:05</p> <p>簗原 明香理</p> <p>2月7日 14:06</p> <p>木村 健人</p> <p>2月7日 14:29</p> <p>高山 聡樹</p>	<p>宮崎 飛向</p> <p>2月7日 14:02</p> <p>谷岡 宗祐</p> <p>2月7日 14:05</p> <p>進 結翔</p> <p>2月7日 14:24</p> <p>森田 光</p> <p>2月7日 14:29</p> <p>村野 生芽</p>	<p>茂永 瑠和</p> <p>2月7日 14:02</p> <p>嵐 玲美</p> <p>2月7日 14:05</p> <p>西尾 知留</p> <p>2月7日 14:25</p> <p>城戸 志乃美</p> <p>2月7日 14:30</p> <p>佐藤 聡亮</p> <p>2月9日 10:54</p>	<p>脇山 幸大</p> <p>2月7日 14:03</p> <p>陸田 健介</p> <p>2月7日 14:06</p> <p>野中 友梨</p> <p>2月7日 14:25</p> <p>大津 伊織</p> <p>2月7日 14:30</p> <p>福嶋 尚貴</p> <p>2月11日 12:10</p>	<p>石坂 真子</p> <p>2月7日 14:03</p> <p>上田 咲輝</p> <p>2月7日 14:06</p> <p>遠藤 みなと</p> <p>2月7日 14:26</p> <p>藤波 麟太郎</p> <p>2月7日 14:31</p> <p>厚朴 菜々美</p> <p>2月11日 12:16</p>
--	---	---	--	--	---	--

福岡教育大学附属小倉小学校 体育(5年生)

出品者 回答共有中

小林 凜汰郎
開脚の練習は、教員の場所ももっとも
することがその後の練習です。



2月6日(月) 14:45

高濱 直子



2月6日(月) 14:47

安増 承太郎

ふりかえり
今日僕は開脚跳びをして動画を
みて僕は頓いてなかったけど踏み
切りができていなかったのて次は
踏み切りを綺麗にしたいです

2月6日(月) 14:51

石田 大喜

ふり返り
今日僕は、開脚跳びをしてみ
て、手が一つ違うところに行つた
からできなかったから次回は、
手の位置が同じにできるように
なりたいです。

2月6日(月) 14:58



2月6日(月) 14:59

今川 輝一

切りに気をつけて跳び箱を飛び
るようにしよう。
・跳び箱を跳びこせるように両
足踏み切りをける

2月6日(月) 15:04

桑岡 瑠偉



2月6日(月) 15:04

泉 桜絢



2月6日(月) 15:05

緒方 優利子

めあて
着手の時に速くに手つき、着地の時に
1秒止まれるようになって綺麗な動きを
つくりたい。

2月6日(月) 15:07

立山 杏樹



2月6日(月) 15:08

堤 修人



2月6日(月) 15:09

金村



2月6日(月) 15:10

野徳 有太

開脚でもっと
足をひろげたい

2月7日(火) 14:13

北野 加奈



2月7日(火) 14:20

都留 妃翠



2月7日(火) 14:21

鬼塚 芽生



2月7日(火) 14:22

大年 滯



2月7日(火) 14:23

梶原 夕愛



2月7日(火) 14:23

伊原 麗



2月7日(火) 14:24

龍門 愛実



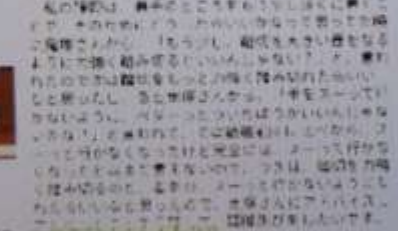
2月7日(火) 14:25

堀口 彩希



2月7日(火) 14:25

若松 加奈子



2月7日(火) 14:30

平川 瑞姫

練習
ふみ切りの音が小さいので、もっ
と音を大きくしたいです。
明日の私のめあては、ふみ切りの
音を大きくさせるので、
めあて
みんなの動きをかかさずして、
音を大きくするコツを見つけよう。

2月7日(火) 14:32

濱口 快成

練習は足の踏み具合と手の位置を
揃えるのと足の位置を揃えること
です。だから次は手の位置と足の
の位置を揃えたいなと思いまし
た。

2月7日(火) 14:35

永井 あやか



2月7日(火) 14:36

新田 新



2月7日(火) 14:36

前藤 玲雄

花立 征太郎

有田 彩代

樽井 祐志

であれば、こんなふうにしたらいんじゃない？

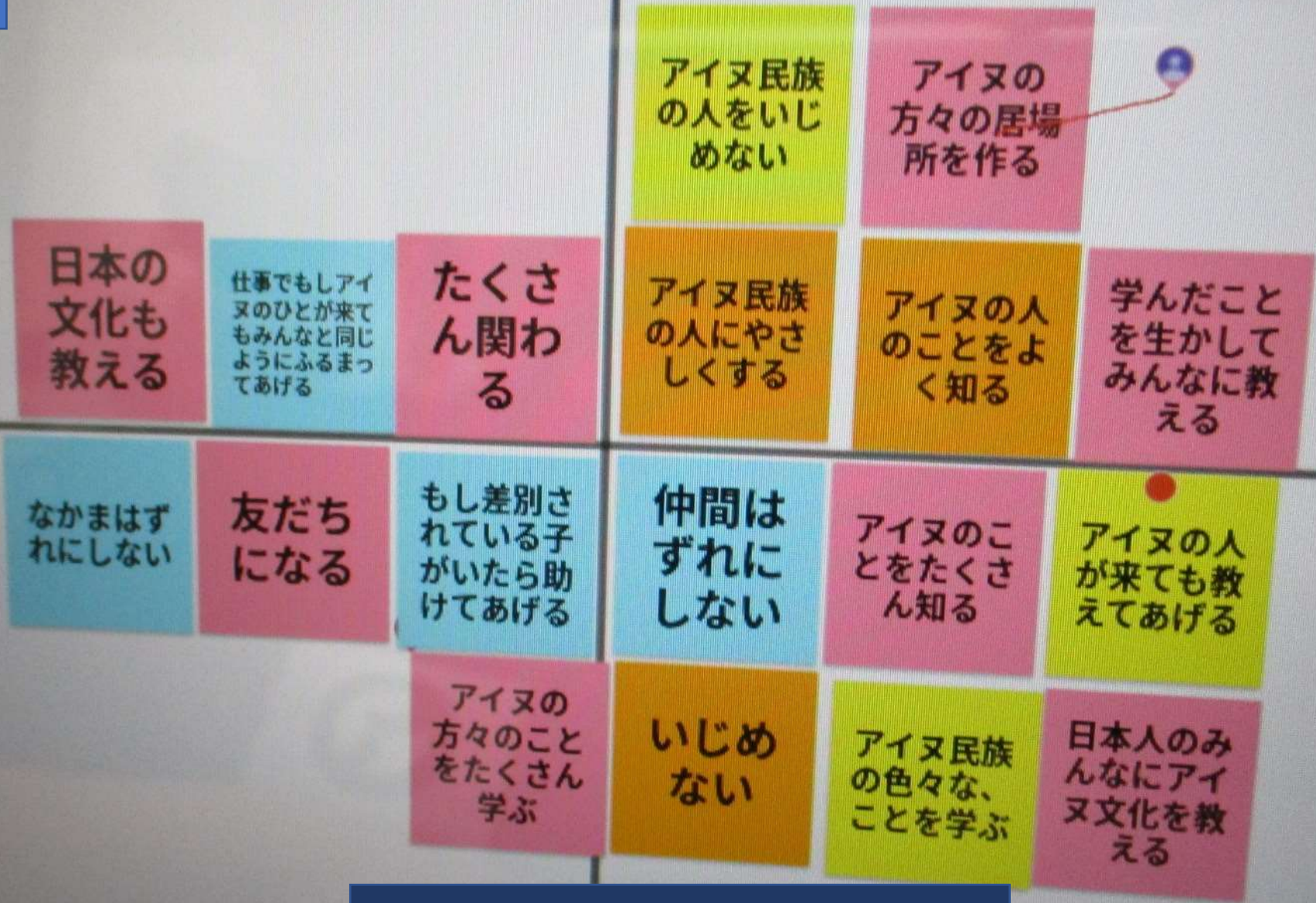
私はこんなふう
にしたい



大人になったらできると考えたこと

社会全体で協力してこそできると考えたこと

自分だけでもできると考えたこと



今の自分でもできると考えたこと

行方市立麻生中学校



学習の道のり

粘り強く取り

成果

徳島県 鳴門教育大学附属小学校

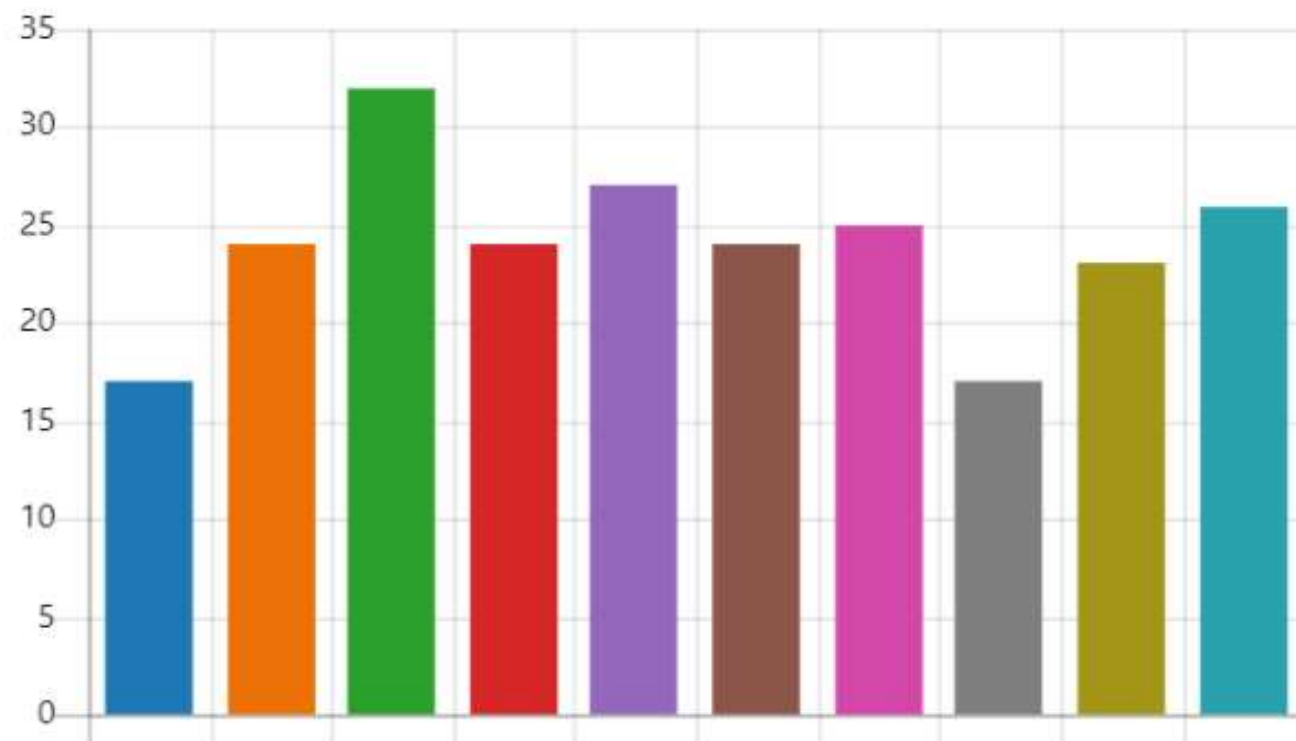
生杉 真美

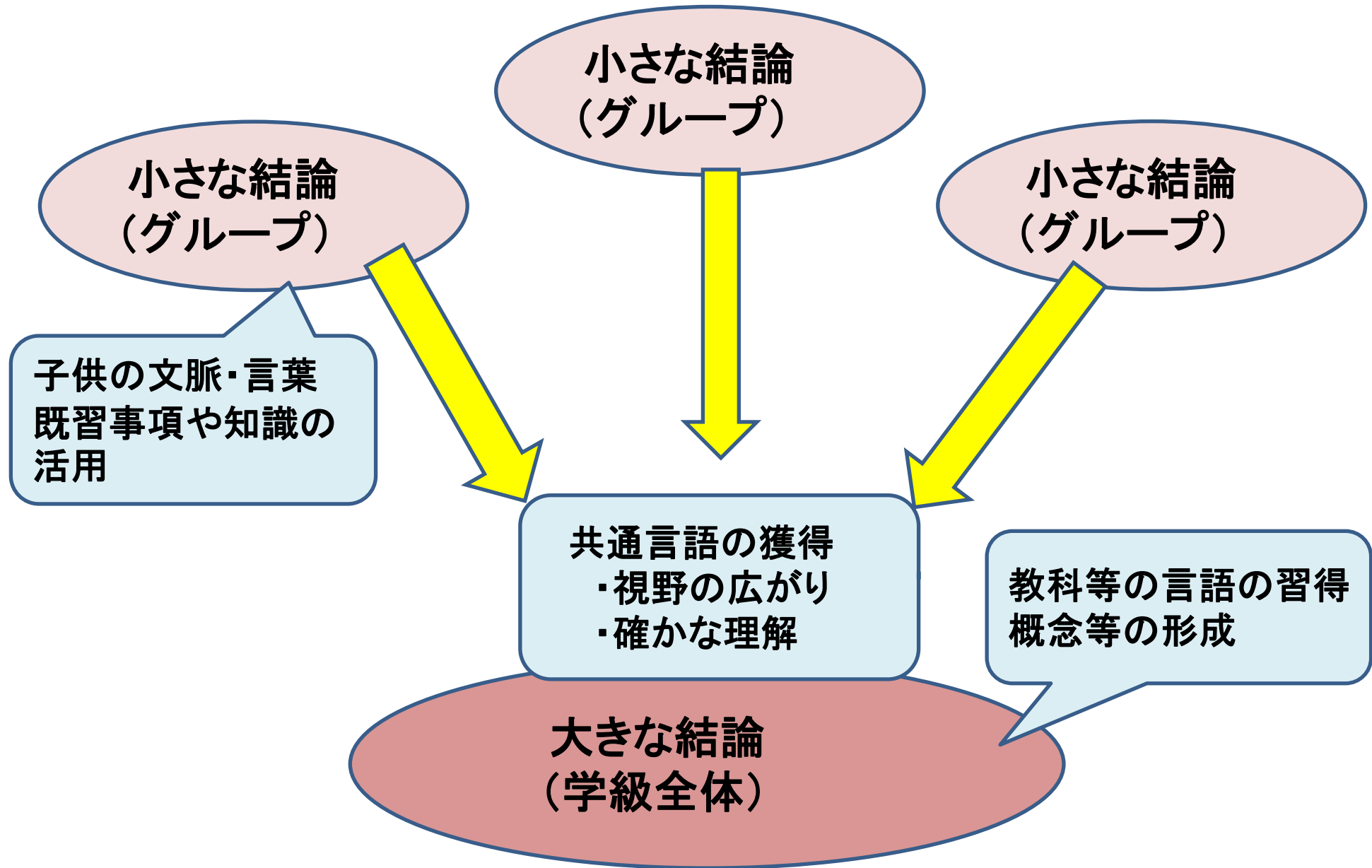
2021年 12月25日

6. 社会科の学習で、どんな時にタブレットを使ってよかったと思いましたか。（当てはまるものすべて）

詳細

● 自分の考えを書く	17
● 自分の考えをまとめる	24
● グループで話し合いをする	32
● 友達の意見を手元でみる	24
● インターネットを使って調べる	27
● くばられた資料をつかって調べる	24
● カメラの機能で記録する	25
● 表現物をつくる（一人で）	17
● 表現物をつくる（何人かで）	23
● 自分の意見をクラスで発表する	26





あなたは志賀原 廃再稼働に賛成だろうか 反対だろうか。

賛成

- 効 燃料の高騰 雑費費がかかる
- 率 狭い面積で発電
- 他の発電より電力率◎
- 値上げ 原発
- 自治率◎
- 安全対策→安全
- 志賀町高齢化
- 公 原発事故のリスク ↔ 交付金
- 正 作業員に手当あり

3年生 社会

反対

- 福島 土壌を全て調査
- 補償をしなければならぬ
- 想定外の災害 → 風評被害 (二次被害)
- 高齢化 → 避難の問題
- 稼働しなくても交付金
- 偏西風 季節風 → 被害拡大のリスク
- 福島 土壌カイリ → 入るは日常に被害
- 同じ住民は不安 → 反対の人
- 作業員の被曝量◎
- 生活に近づく人 → 被害
- 水貝 (30km内) → 心配
- 被曝量基準値 ↑ → 作業
- 事故の確率◎ → 周



- 児童のよい点や進歩の状況などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにすること。また、各教科等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通しながら評価の場面や方法を工夫して、学習の過程や成果を評価し、指導の改善や学習意欲の向上を図り、資質・能力の育成に生かすようにすること。
- 創意工夫の中で学習評価の妥当性や信頼性が高められるよう、組織的かつ計画的な取組を推進するとともに、学年や学校段階を越えて児童(生徒)の学習の成果が円滑に接続されるように工夫すること。

(小学校学習指導要領第1章総則 第3教育課程の実施と学習評価 2学習評価の充実)
(中学校学習指導要領にも同旨)

目標

評価規準

「十分満足できる」状況と
判断されるもの(A)

授業後

「概ね満足できる」状況と
判断されるもの(B)

「努力を要する」状況と
判断されるもの(C)

即時



久しぶりに生徒の学びを直接参観できた先生方も多かったのではないのでしょうか。たくさんのお土産をもちましたか。

コロナ過でも研究を止めずに今日の公開につなげてくださった富山大学教育学部附属中学校の先生方

**情熱がこめられた素敵な授業を
ありがとうございました。**

